

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		官民境界立会事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	事業部	課長名	富加美尚悟
	施策	25	行政改革の推進			所属課	建設課	担当者名	榎野 努
	基本事業	89	公有財産の管理運営			所属班	管理計画班	(内線)	2271
予算科目	会計一般	款 8	項 1	目 1	事業連番 11152	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	土地の所有者が道路等との境界確定を行う際、申請に基づき境界立会を行い境界の確定を行う。国土調査が昭和40年代になされたが、その当時は木杭の設置であったため、年月が経ち杭がなくなり境界が不明になっている。このため境界を明確にし、個人及び市の財産の管理を行うものである。変化は見られない。
【業務の流れ】	申請の受付、立会い日程の調整、境界立会い、記録簿の作成
【主な予算費目】	なし
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特に旧西合志町の地図の精度が悪いという意見があり、併せて地籍調査をやり直した方がよいのではという意見がある。旧西合志地区の地籍図において、筆界未定の土地が多すぎるとの意見がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	申請書受付、審査、境界立会い、記録簿作成。	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度同様
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア:申請件数	件	→ 昨年度同様
→ イ:立会い回数	日	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市道と市道に接する民地。 ※(ここでの市道とは市道のほかに里道・水路・市所有公衆用道路を含む。)	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 筆
		→ ア:申請筆数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市道と市道に接する土地との境界を確定する。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) %
		→ ア:官民境界対応率
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
国土調査の境界点を現地で測りだした場合、まれに合致しない点がある。このような状況も踏まえ所有者に理解を得て境界を確定する。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	ア	件	150	154	150	137	150	150	150	150
	イ	日	159	129	110	86	110	110	110	110
	②対象指標	ア	0	0	230	0	230	230	230	230
	イ									
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	0	0	0	0
	イ									
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
	(A)事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	4	5	4	5	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	0	905	0	1,305	0	0	0	0
	(B)人件費計	千円	0	3,605	0	5,199	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	3,605	0	5,199	0	0	0	0

事務事業名	官民境界立会事務	所属部	事業部	所属課	建設課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 境界杭は本来所有者の財産である。所有者の費用負担は発生するが、所有者の理解が得られれば解決につながる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 国土調査を再度実施すれば成果を向上できるが、それには膨大な時間、予算がないと行えない。また、住民の理解が得られないと予想される。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正な事業の推進及び正職員の人件費以外に事業費はないため、削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 境界確定には管理者として責任が伴うため、正職員以外の職員が行うべきではない。ただし、境界確定に専門的な知識を持つ者をということであるならば、境界立会いには正職員二人が必ず対応するためそのうち一人は正職員以外の職員もしくは委託でよい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公共の道路・里道・水路等は市の財産であるため行政で事業を行うべきである。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

土地の所有者の申請により境界立会いを行うので、特に成果はない。
---------------------------------

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						